



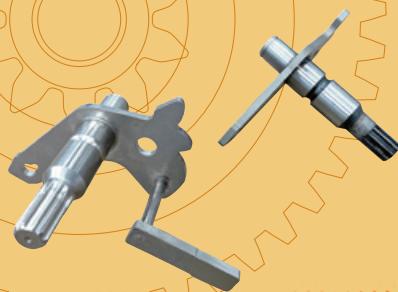
第69期

# 中間報告書

2021年3月期

2020.4.1 ▶ 2020.9.30

Global Supplier



証券コード:7628



## 新たな価値を創造し、 世界のお客様から信頼される 会社を実現してまいります。

代表取締役社長  
柴崎 衛

平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々の一日も早いご回復をお祈りいたします。

当上半期の世界経済及びわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出規制、休業要請等で経済活動が厳しく制限され、景気の悪化が急速に進みました。その後、各国とも感染症拡大の抑制と経済活動の両立に向けた政策を実行し、中国ではいち早く景気の回復がみられ、その他の地域においても景気は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、一部の国、地域では感染症再拡大の兆しが出ており、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループの事業分野であります自動車業界におきましては、海外(当社会計期間2020年1月1日～2020年6月30日)では、4月以降、中国の生産台数の急回復がみられたものの、その他の地域で新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要メーカーの操業停止が本格化し、生産台数は大幅に減少しました。

また国内(当社会計期間2020年4月1日～2020年9月30日)では、7月以降、主要メーカーの生産台数は増加基調にありますが、期初からの操業停止と需要低迷の影響が大きく、上半期の生産台数は大幅に減少しました。

このような状況下、当社グループでは事業基盤の強化と経営の効率化に努めてまいりましたが、連結売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による主要得意先メーカー各社の操業停止と需要の低迷に伴う生産台数の減少により、前年同期比減収となりました。また、連結営業利益も各地域における売上減少の影響が大きく、前年同期比減益となりました。

当社グループは、引続きグローバルサプライヤーとして、「ファクトリー&ファブレス」機能を最大限に活用し、事業基盤の強化と企業価値の向上に努めてまいります。

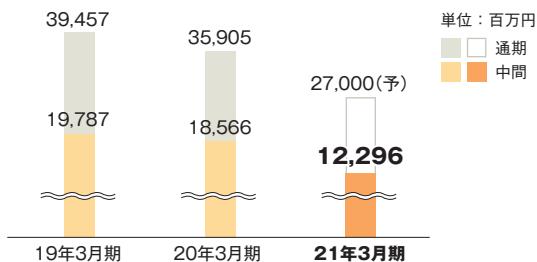
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年12月

## 連結財務ハイライト ▶ Consolidated Financial Highlight

### 連結売上高

**12,296**百万円 | 前年同期比:33.8%減



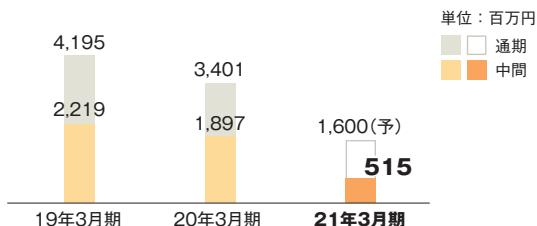
### 連結営業利益

**444**百万円 | 前年同期比:75.4%減



### 連結経常利益

**515**百万円 | 前年同期比:72.8%減



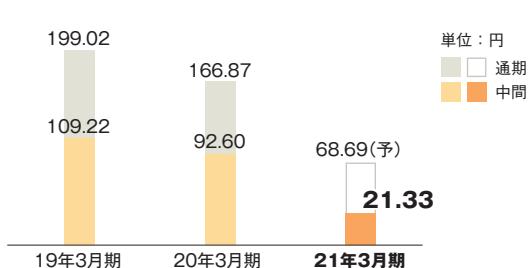
### 連結親会社株主に帰属する四半期純利益

**312**百万円 | 前年同期比:77.1%減



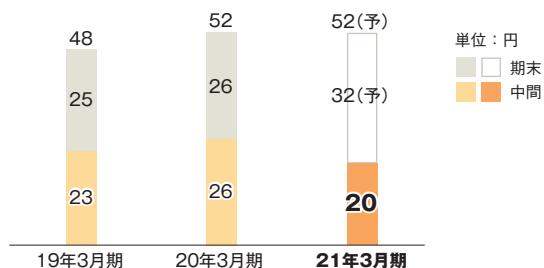
### 1株当たり四半期純利益

**21.33**円 | 前年同期比:77.0%減



### 1株当たり配当金(中間)

**20**円



## 連結財務諸表の要旨 ▶ Consolidated Financial Statements

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2020年9月30日	前期末 2020年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	30,226	33,958
固定資産	8,383	8,401
資産合計	38,609	42,360
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,541	9,606
固定負債	921	828
負債合計	7,462	10,435
<b>純資産の部</b>		
株主資本	30,522	30,894
その他の包括利益累計額	229	605
非支配株主持分	394	424
純資産合計	31,146	31,925
負債純資産合計	38,609	42,360

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	前第2四半期累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日
売上高	12,296	18,566
売上原価	9,520	14,037
売上総利益	2,776	4,529
販売費及び一般管理費	2,331	2,725
営業利益	444	1,804
営業外収益	147	134
営業外費用	77	41
経常利益	515	1,897
特別利益	17	0
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	531	1,896
法人税等	217	519
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	312	1,365

### 中間配当金について

2020年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主の皆様に対し次のとおり中間配当金をお支払いします。

**1.中間配当金** 1株につき20円

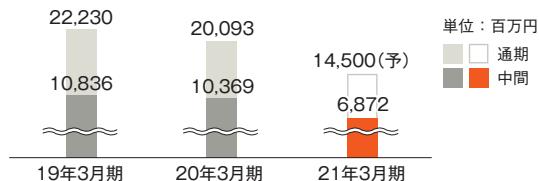
**2.支払い開始日** 2020年12月8日(火)

## 地域別売上高 ▶ Sales by Geographical Segment

### 日本の売上高

**6,872**百万円 | 前年同期比:33.7%減

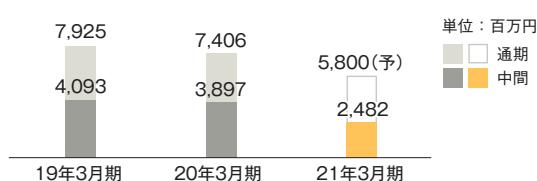
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要得意先メーカーの一時的な操業停止、その後の需要の低迷に伴う生産減少の影響により、売上高は68億7千2百万円(前年同期比33.7%減)となりました。



### 米州の売上高

**2,482**百万円 | 前年同期比:36.3%減

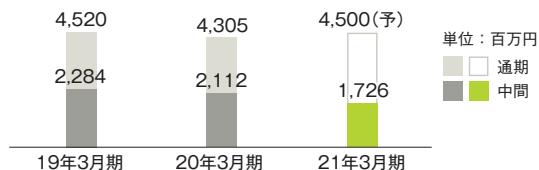
アメリカ、メキシコにも新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要得意先メーカーの操業停止、生産減少の影響により、売上高は24億8千2百万円(前年同期比36.3%減)となりました。



### 中国の売上高

**1,726**百万円 | 前年同期比:18.3%減

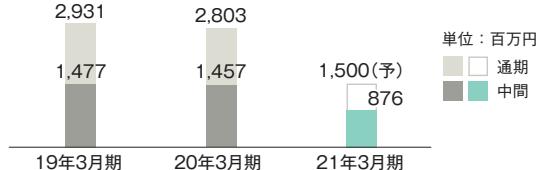
主要得意先メーカーの生産は、4月以降は回復基調であるものの、2月～3月の操業停止、生産減少の影響が大きく、売上高は17億2千6百万円(前年同期比18.3%減)となりました。



### アセアンの売上高

**876**百万円 | 前年同期比:39.9%減

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要得意先メーカーの生産減少の影響により、売上高は8億7千6百万円(前年同期比39.9%減)となりました。



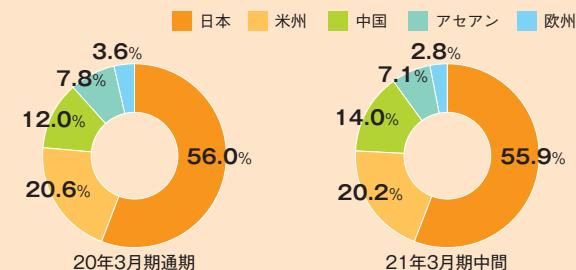
### 欧州の売上高

**339**百万円 | 前年同期比:53.5%減

前年からの日系自動車メーカーの販売台数の低迷に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う主要得意先メーカーの生産減少により、売上高は3億3千9百万円(前年同期比53.5%減)となりました。



### 地域別売上高構成比



## グローバル事業拠点 Network



OHASHI TECHNICA UK, LTD.  
英国タインアンドウィア州ワシントン  
自動車関連部品の販売

英国



OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO.,LTD.  
タイ国サムットプラカーン  
自動車関連部品の製造・販売



OHASHI SATO (THAILAND) CO.,LTD.  
タイ国プラチンブリ  
自動車関連部品の製造



株式会社  
オーハシテクニカ  
東京都港区  
自動車関連部品、  
情報通信関連部品  
等の販売



オーハシ技研工業株式会社  
愛知県東海市  
自動車関連部品の製造・販売



株式会社オーハシロジスティクス  
東京都国立市  
物流事業

日本

中国

タイ

台湾



台湾大橋精密股份有限公司  
台湾高雄市  
自動車関連部品の調達、販売

持分法適用関連会社

株式会社テーケー  
長野県上伊那郡  
自動車関連部品の製造・販売

株式会社ナカヒョウ  
岐阜県各務原市  
自動車関連部品の製造・販売

米国

メキシコ



OHASHI TECHNICA U.S.A., INC.  
米国オハイオ州サンバリー  
自動車関連部品の販売



OHASHI TECHNICA U.S.A. MANUFACTURING, INC.  
米国オハイオ州サンバリー  
自動車関連部品の製造



OHASHI TECHNICA MEXICO, S.A. DE C.V.  
メキシコ国グアナファト州シラオ  
自動車関連部品の販売



OHASHI NAKAHO U.S.A., INC.  
米国オハイオ州サンバリー  
自動車関連部品の製造



大橋精密件(上海)有限公司  
中国上海市  
自動車関連部品の販売



大橋精密件制造(広州)有限公司  
中国広州市  
自動車関連部品の製造



広州大中精密件有限公司  
中国広州市  
自動車関連部品の製造・販売



大橋精密電子(上海)有限公司  
中国上海市  
情報通信関連部品等の製造・販売



## 「オーハシテクニカが無いと 車が作れない」と 言われる会社になりたい

代表取締役社長  
柴崎 衛

### Q 足元の状況は？

**A** 新型コロナウイルス感染症の影響による主要得意先メーカーの操業停止と世界経済の低迷によって自動車生産台数が減少し、上半期の当社業績は残念ながら減収減益となりました。その後、世界最大の自動車市場である中国がいち早く回復軌道に戻り、また米国もそれに続くなど、足元の当社海外業績は前年を上回る水準となっています。国内業績も底を打ち、回復の度合いが高まっています。当社グループとしては、このような市場の流れを、慌てることなく着実に捉えながら、IT化による仕事の効率化や社内体制の整備に取組み、将来の飛躍へと繋げてまいります。

### Q 技術開発に進展は？

**A** 当社独自の溶接技術『圧入プロジェクション接合法』を用いた製品が、新たに大手自動車メーカー2社で採用が決まりました。現在、自動車市場が直面しているCASEに代表される技術革新において、本技術の適用を綿密に調査した結果、自動運転や電動化に必要なアクチュエーターの構成部品に高い強度が求められていることを突き止め、積極的な提案活動を行い受注に至ったものです。さらに、高強度が要求されるトランスミッション用大型部品や、アルミ等の非鉄材料領域への適用拡大に向けた技術開発に、引き続き注力してまいります。

また、精密な冷間鍛造やプレス加工技術等において、第2、第3の独自加工技術の開発にも積極的に取り組んでまいります。

## Q 製造機能の強化は？

**A** 国内は、オーハシ技研工業株式会社鈴鹿工場の生産体制の強化に取り組んでいます。本年7月に切削加工事業を鈴鹿工場に集約し、生産効率の改善を図りました。また、グループ企業である株式会社テーケーにおいて圧入プロジェクション関連部品の製造ラインの増設や大型溶接機の導入検討等、設備増強に積極的に取り組んでいます。

一方、海外においては、米国製造子会社で来年以降、量産開始が予定されている切削加工品や冷間圧造品の生産ラインの準備を進めています。中国では冷間圧造事業と精密プレス事業の拡大に向けた工場増設が完了し、年明けにも大型冷間圧造機の導入を予定しています。また、タイの切削工場では、主要な生産ラインの設備更新を実施し、より高精度の部品に対応できる体制を構築しました。

これらの活動をさらに推進し、米国、中国、タイの主要3拠点において、国内と同様に圧造、プレス、切削の3つの加工技術に対応できる生産体制を早期に構築してまいります。

## Q 今後の目指す姿は？

**A** 自動車業界は百年に一度と言われる技術革新の真っ只中にあることに加え、今年は新型コロナウイルス感染症の世界的大流行にも見舞われ、かつてない

市場環境の激変に直面しています。このような市場や社会の中で生き残っていくためには、変化に対処するだけでなく、自ら変化を創出していかなければなりません。そしてそれを実現する唯一の方策は、市場ニーズを的確に捉えた事業活動を粘り強く実行していくことであると信じています。市場ニーズは、どのような時代にあってもお客様の元にあります。リモートワークが多用される中においてこそ、お客様から「直接会って話を聞きたい」と言っていただける会社でありたいと考えています。

当社グループは、新たな加工技術の開発、国内外の生産設備を増強しファクトリー機能を強化すること、高い技術力を持つ調達先と連携しファブレス機能を強化すること、そしてこれらをグローバルで拡充することに引き続き全力で取り組んでまいります。

オーハシテクニカは、車は作っていません。

オーハシテクニカは、もっといい車を作ろうと頑張っている人たちにもっといい部品をお届けする会社を目指しています。

そして、「オーハシテクニカが無いと車が作れない」と言われる会社を目指します。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 企業情報 (2020年9月30日現在) ▶ Corporate Data

### 会社概要

社名	株式会社オーハシテクニカ OHASHI TECHNICA, INC.
本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル10階
設立	1953年（昭和28年）3月12日
資本金	18億2,567万円
従業員数	グループ合計 739名
連結子会社	国内2社、海外12社
持分法適用関連会社	国内2社
主な事業内容	①自動車関連部品等の製造・販売、 及び加工技術開発 ②物流業務並びに輸出入業務

### 取締役

代表取締役社長	柴崎 衛
取締役	中村 佳二
取締役	古性 雅人
取締役(監査等委員)	伊田 和浩
社外取締役(監査等委員)	三好 徹
社外取締役(監査等委員)	新妻 幹夫

### 執行役員

執行役員	廣瀬 正也
執行役員	堀 正人
執行役員	正木 聖二
執行役員	立岩 光

### 株式情報

#### 株式数及び株主数

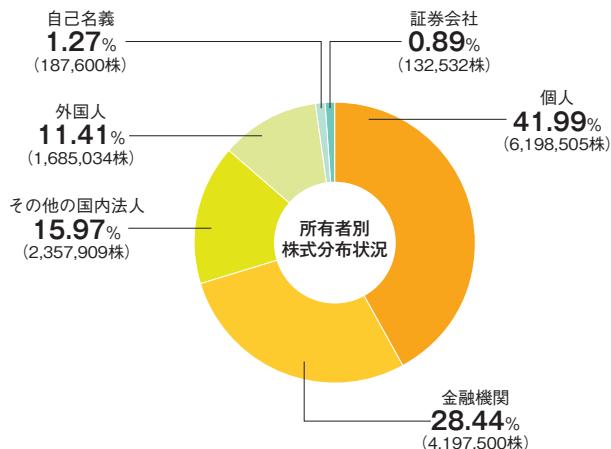
発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式総数	14,759,080株
株主数	6,992名

#### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
オーハシテクニカ取引先持株会	1,421,600	9.75
株式会社みずほ銀行	728,300	4.99
日本生命保険相互会社	660,000	4.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	657,600	4.51
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	590,400	4.05
阿部 泰三	436,600	2.99
大橋 玲子	353,700	2.42
明治安田生命保険相互会社	340,000	2.33
MSCO CUSTOMER SECURITIES	322,800	2.21
株式会社佐賀鉄工所	305,600	2.09

(注)当社は自己株式187,600株を保有しております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

#### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告方法	下記ホームページに掲載いたします。 <a href="https://www.ohashi.co.jp">https://www.ohashi.co.jp</a>
住所変更、単元未満株式の 買取のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開 設されました株主様は、特別口座の口座管理機 関である三井住友信託銀行株式会社にお申出 ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式 会社にお申出ください。

### 株主優待のご案内

当社では、株主の皆様へ感謝の意を示すとともに、長期的なご支援をいただけるよう、株主優待を実施しています。

100株以上保有の全株主様に、保有数に応じた枚数のおこめ券を年に2回お届けしています。

また、2008年からは長期保有優遇制度も導入いたしており、3年以上継続保有の株主様に対しては、更におこめ券を1枚(1kg)追加進呈しております。



### ～株主優待の内容～ おこめ券を進呈

100株以上	1枚 (1kg)
1,000株以上	3枚 (3kg)
10,000株以上	5枚 (5kg)

※3年以上継続保有の株主様に対しては、更にもう1枚を追加進呈いたしております。

割当基準日	3月末日・9月末日
優待回数	年2回

## 株式会社オーハシテクニカ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号  
ヒューリック神谷町ビル10階

TEL. 03-5404-4411 (代)

IRに関してのお問い合わせ：ir@ohashi.co.jp

<https://www.ohashi.co.jp>



PROJECT-  
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。

